

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

2月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「キジ♂ キジ科」

留鳥。全長 81cm。人里近くに生息している。飛ぶのは苦手だが走るのは速い。日本の国鳥。



「キジバト ハト科」

留鳥。全長 33cm。背中へのウロコ模様が特徴。群れずに単独か2羽でいることが多い。



駒

「オオキンカメモシ キンカメモシ科」

体長 20-25mm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメモシ。大きめの葉の裏をのぞいてみよう。



☆「ヤブツバキ ツバキ科」☆

海岸沿いに多い常緑小高木。日本原産で園芸品種の基本種。観賞用と共に重要な油用植物でもあった。



☆「オガタマノキ モクレン科」☆

日本に自生するモクレン科では唯一の常緑樹。ご神木とされる事が多い。直径 3cm 程の花が咲いている。



☆「アセビ ツツジ科」☆

日本特産の常緑低木で、万葉集にも登場するほど昔から庭木として人気がある。蕾が膨らみ始める。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆

湿った林下に生える常緑多年草。沖縄に生えるゲットウの仲間。和歌山県絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



「マンリョウ サクラソウ科」

林下に生える常緑小低木。果実は葉の下に幹を囲むようにつける。観賞用に昔から栽培されている。



「ツルコウジ サクラソウ科」

暖地の林下に生える常緑小低木。全体的に柔らかい毛があり、茎が地面を這い群生する。

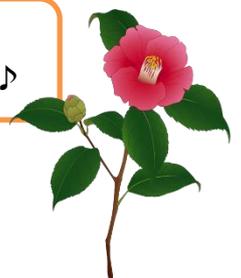
☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

駒…駒ヶ崎で観察することができます。

宇久井半島では、日差しがだんだん暖かく感じられるようになりました。園地内を散策して春を見つけてください。皆様のお越しをお待ちしております♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2025年2月前半号
宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園 宇久井半島

冬版

フェリーターミナル方面
通行できません

<散策時間の目安>

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒埼灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m

クロサギ
ミサゴ
ヒドリガモ
マガモ



千尋の浜

(上地の浜)

メジロ
キジバト
ヒヨドリ
ウグイス

休暇村
南紀勝浦

外の取



至 R42

セグロカモメ
ウミネコ

自然観察の森

上野展望台

防空監視哨

ビジターセンター

松尾展望広場



赤灯台

地玉(じこく)の浜



凡例

- 駐車場
- あずまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段

灯台まであと4分



水壺の跡

タブノキ

木のすき間から浜が見えます。



オオキンカメムシ

駒埼灯台